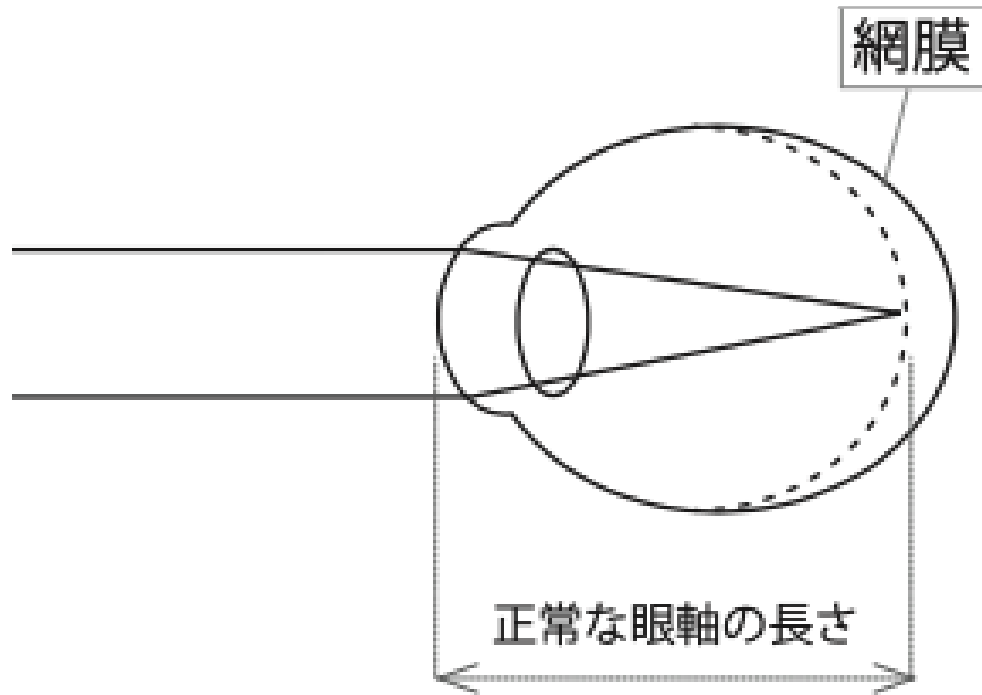


近視とは？



角膜と水晶体で目いっぱいピントを合わせても網膜の手前にしか焦点を結べない状態
眼球の長さと調節力が釣り合っていない状態

近視の特徴

近くは見えるが遠くは見えにくい

コンタクト代や眼鏡代がかかる

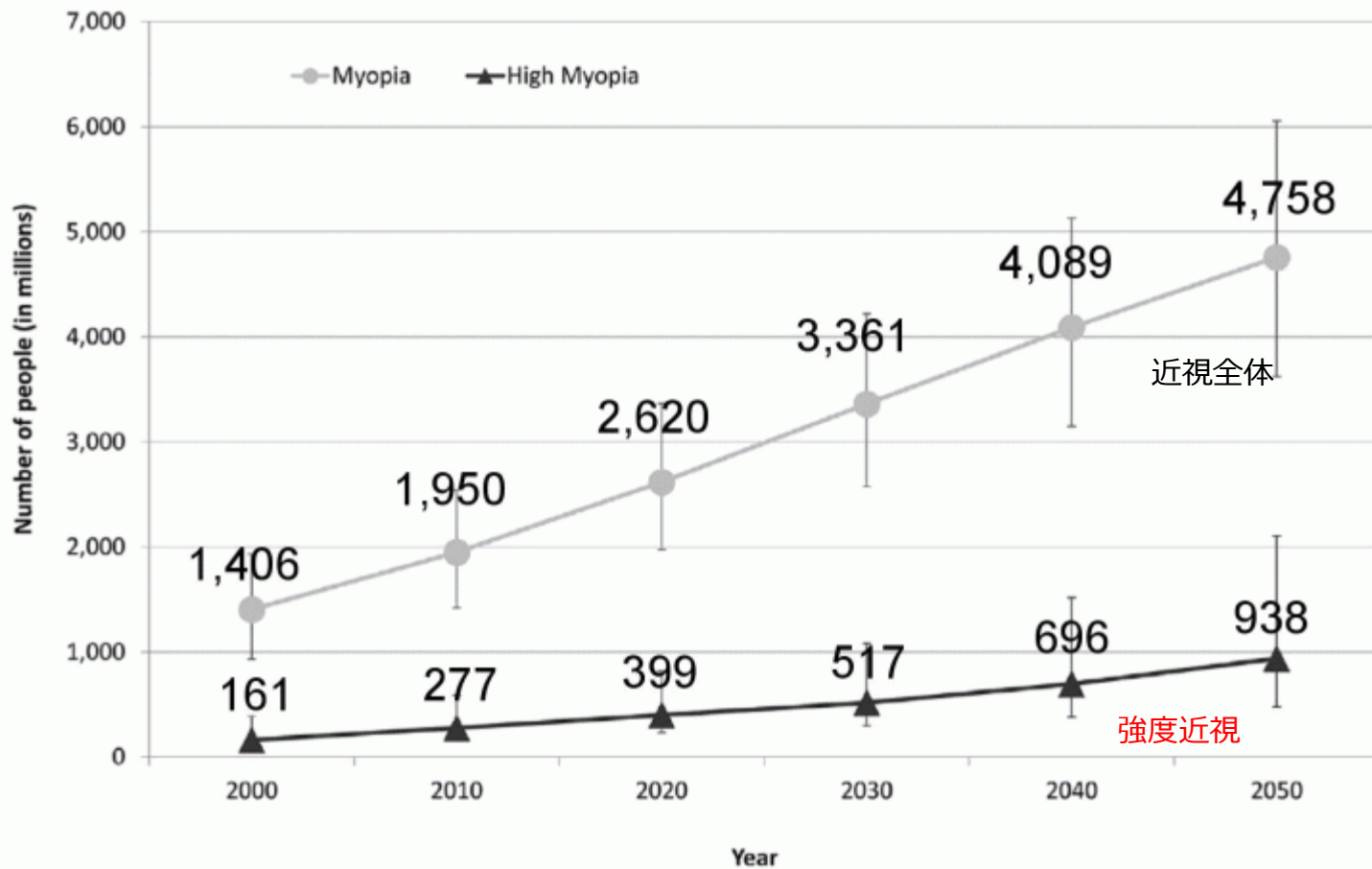
スポーツの時に不便

朝起きてすぐ部屋の中が見えない

歳を取っても近くが見えるので老眼鏡が要らない

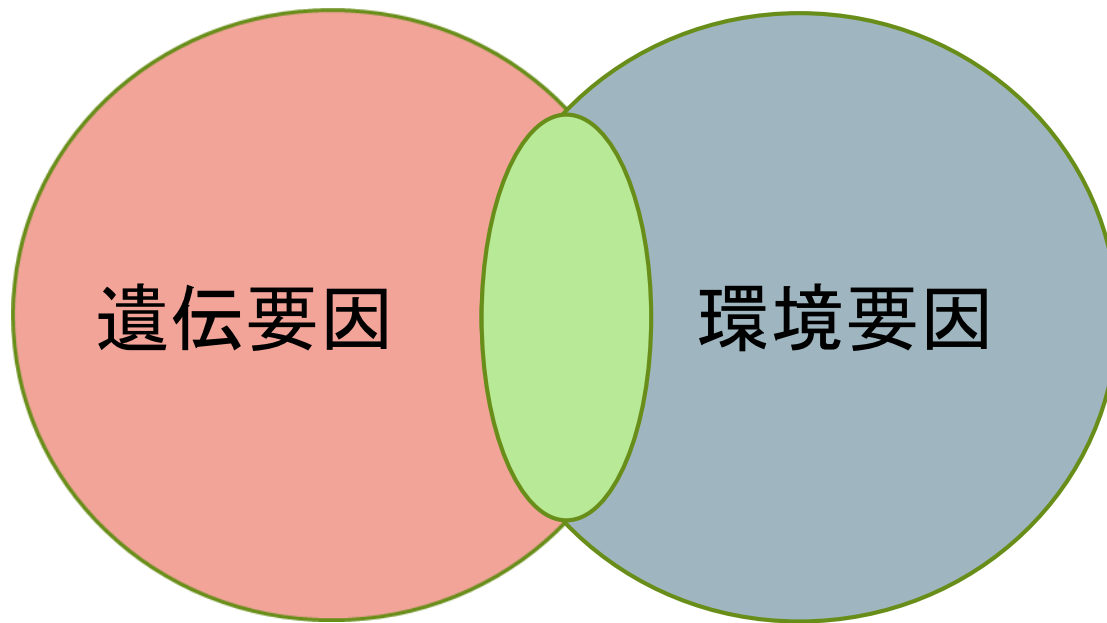
眼鏡を外したら近くが見える ← よい事もある

世界の近視人口の推移



Source: American Academy of Ophthalmology, Vol.123, May 2016

近視の原因



環境要因

近方作業時間の増加



勉強のしすぎ



ゲームのしすぎ

近視の進行

学童期に近視が最も進行する

男女とも8歳からの5年間で近視進行のピーク

20歳前後で近視進行は弱まる

20歳代後半で近視の進行がほぼ停止する

近視の程度による分類

弱度近視 -0.5D以上-3.0D未満の近視

中等度近視 -3.0D以上-6.0D未満の近視

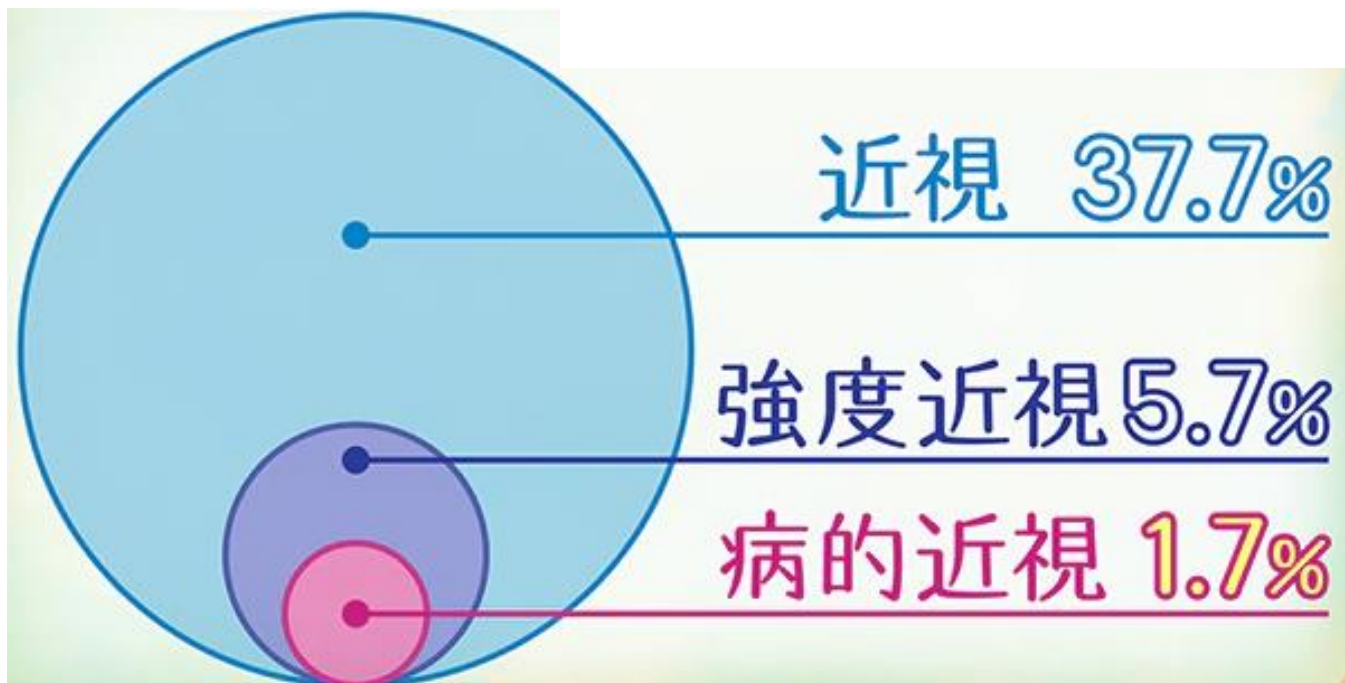
強度近視 -6.0D以上の近視

眼軸長が1mm伸びると-3.0D近視が進行する

単純近視と病的近視

単純近視 視機能障害を伴わず
眼鏡、コンタクトレンズなどで
容易に視力矯正できる

病的近視 矯正視力の低下、視野障など
視機能障害を伴い、失明の原因となる近視



2005年久山町研究

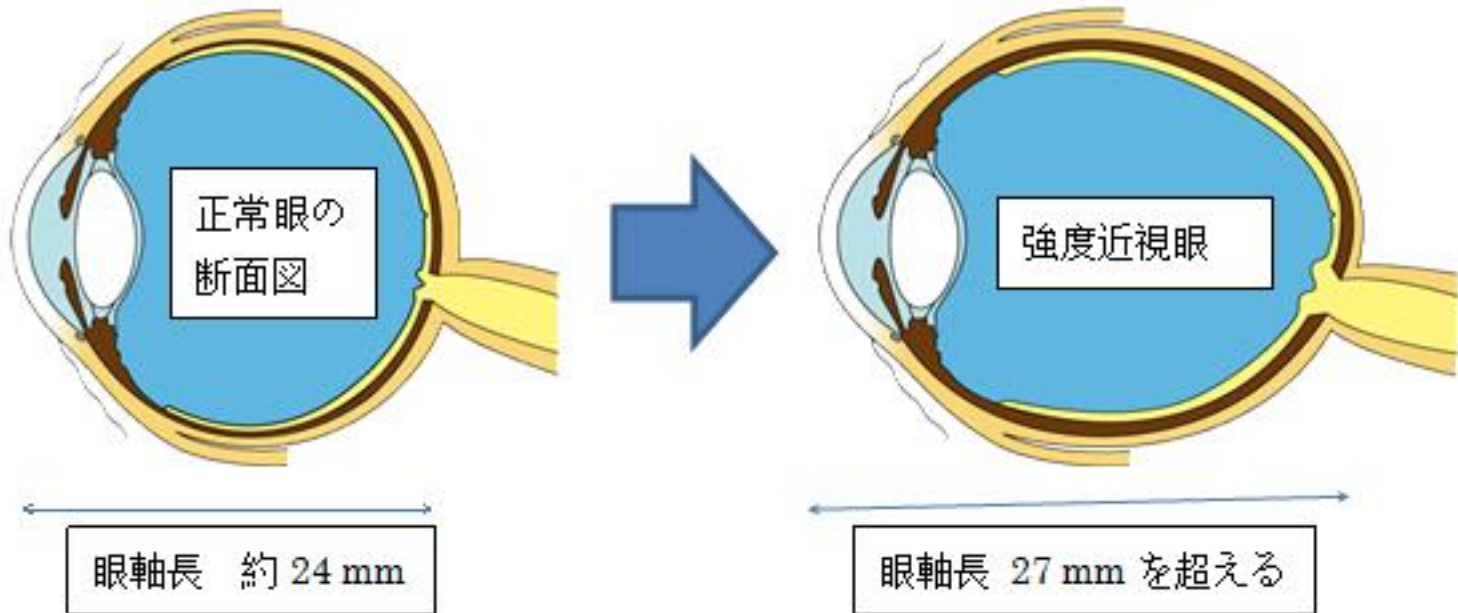
視覚障害1級（失明）の原因疾患

1位	緑内障	25.5%
2位	糖尿病網膜症	21.0%
3位	網膜色素変性	8.8%
4位	病的近視	6.5%
5位	黄斑変性	4.2%

平成17年度厚労省
網膜脈絡視神経萎縮症調査研究班報告書

病的近視

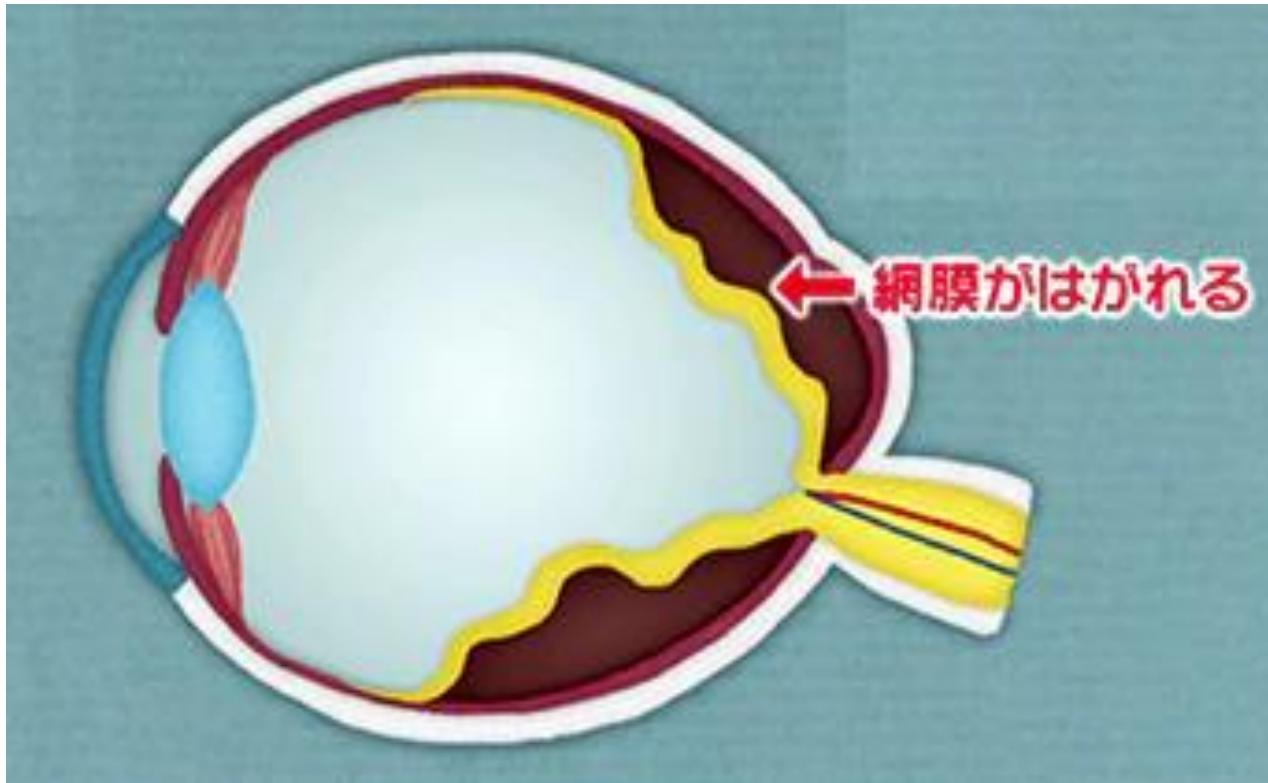
眼球後部の変形を伴い、それにより視神経や網膜が機械的に障害される



病的近視は強度近視が多い

強度近視に伴う眼疾患

網膜剥離

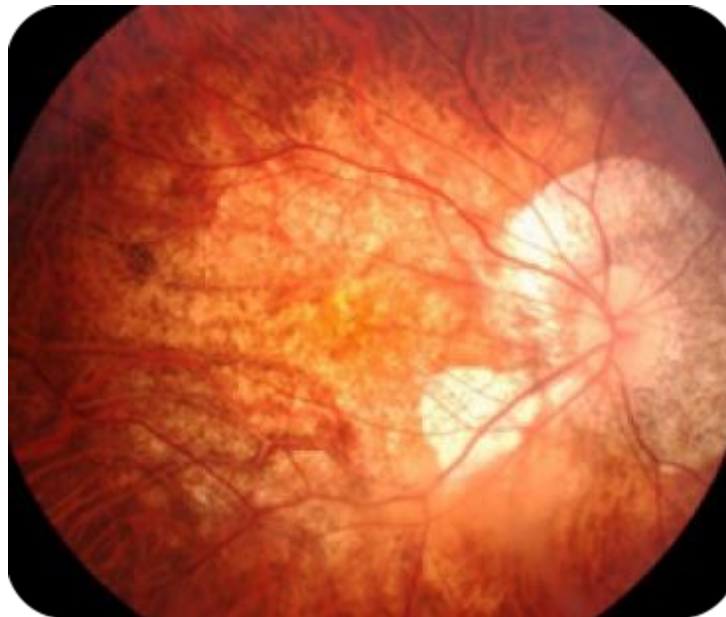


強度近視に伴う眼疾患

網脈絡膜萎縮



正常眼底

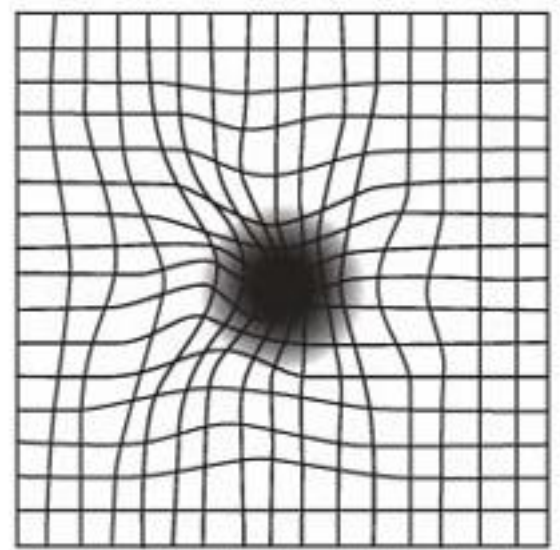


東京医科歯科大学近視外来HPより

視力、視野異常が出現

強度近視に伴う眼疾患

黄斑部新生血管

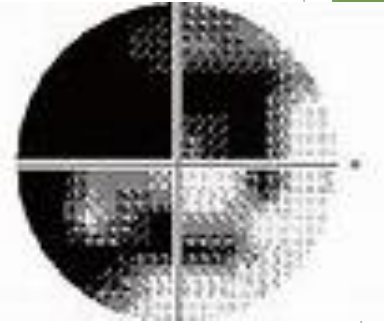


まっすぐな線がゆがんで見える
中心が見えにくくなる

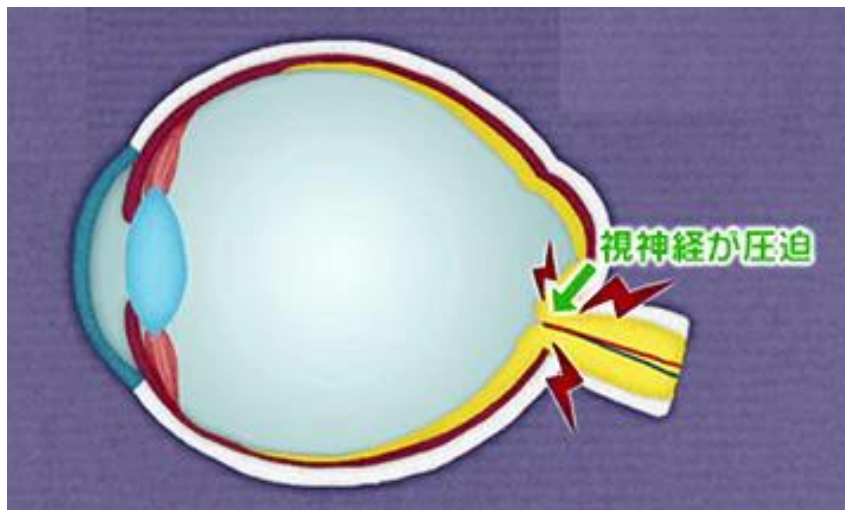
強度近視に伴う眼疾患

緑内障・視神経障害

近視は緑内障の危険因子



眼球の異常な伸展により、
視神経や神経線維が機械的に障害される



近視の進行を遅らせる治療

近視を元に戻す事はできないが
進行を遅らせる治療は出てきている

低濃度アトロピン他

アトロピン 調節麻痺剤で古くから小児の斜視や弱視の診断に使われてきた点眼薬

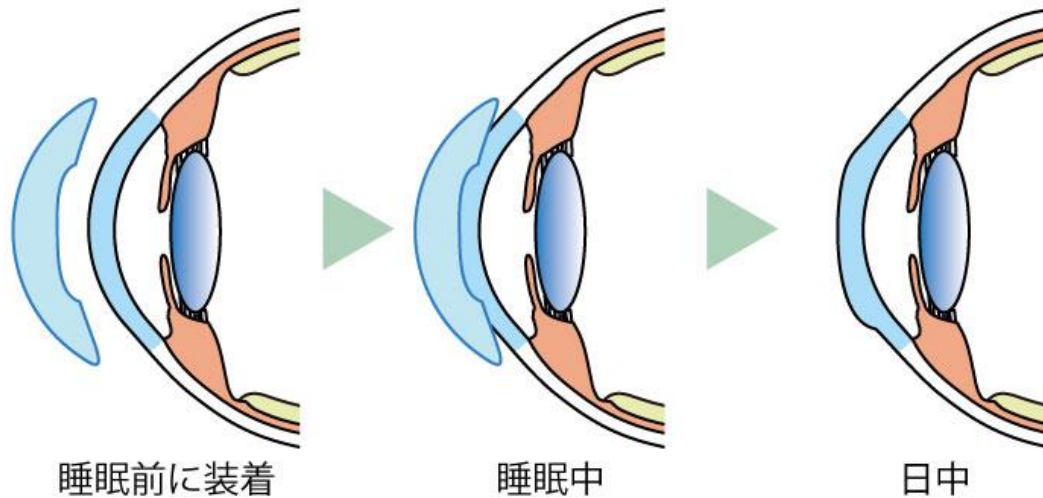
近視の進行を抑制する働きがある事はわかっていたが、瞳孔が広がって眩しくなる、調節力が無くなって見えにくくなる等の副作用があり治療には使えなかった

シンガポールの研究で100倍の濃度に薄めたアトロピンでは副作用が無く、近視の進行を遅らせる作用があると報告された

人によっては効果が無い場合もある
0.025%や0.05%ではどうかなど研究が進められている



オルソケラトロジー



就寝時にHCLを装用し、朝外す
角膜が圧迫されて薄くなることによって近視が軽くなる
近視の進行を遅らせる作用もある

注意点

大人になっても近視が進行

-8.0Dを超える強度近視

低年齢の頃から近視が強い



定期的に眼科で検査を受けた方が安心

